

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。

そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。

このようなスポーツによるまちづくりについて、札幌市在住のシンガーソングライター・小澤ちひろさんにお話を伺いました。



声が、思いが誰かのチカラになる
音楽で人に寄り添い希望を届けたい

シンガーソングライター 小澤 ちひろさん

1989年生まれ、札幌市出身。2005年にavex traxより「Candy」名義でメジャーデビュー。2012年に地元・北海道に拠点を移し、ライブ活動や楽曲提供のほか、ナレーションやラジオパーソナリティなどで幅広く活躍し、現在はAIR-G' FM北海道「小澤ちひろのMusic in Mind」が放送中。現在一児の母。

みんなの声が聞こえるミラクル
エールが新たなチカラに変わる

子どもの頃から音楽ひとすじで、スポーツはもっぱら応援する専門でした。スポーツと音楽、それぞれフィールドは違いますが、みんなの声援がミラクルを起こすところは共通しているのかなと思います。2022年に制作した「スノウコンフエッティ」は、札幌市のどさんこアスリート公式応援ソングとして「みんなの声が選手の子カラになることを届けた」と制作した楽曲でした。曲が完成して一番に友人のカーリング選手・近江谷杏菜さんに聞いてもらったら、「背中を押してくれる曲」とすごく喜んでくれて。みんなのガンバレ！の想いを、歌に込めて届けました。

一児の母となり新たにしたい思い
歌で寄り添い想いを届けたい

実は今年の夏に第一子を出産し、一児の母になったことで、必然的に自分を取り巻く環境や生活リズムがガラッと変わり、お仕事の向き合い方にも変化が生まれました。子育て中の限られた時間の中で自分が本当に何をしたいかを考えたときに、やっぱり私は「自分の歌」を歌っていたい、歌声で人に寄り添いたいとより強く考えるようになったんです。子育て中のお母さんをはじめ、普段なかなか自分の時間が取れない方々にも、例えばオンラインライブやリクエストを募っての動画配信などで、心の居場所のような音楽を届けて行けたらいいと思います。来年はデビュー20周年を迎え、アニメサークルライブの開催も予定しています。地元のみんなと一緒に盛り上がりつつ行けたらうれしいです！

いい人、いい街

#まいにち金メダル

さっぽろの魅力的なヒト・モノ・コトに金メダルを贈り合う「まいにち金メダル」プロジェクト実施中



Instagram

streaming

website

You Tube

小澤ちひろさんの
最新情報は
コチラをチェック

